

付加価値とモーダルシフト



作業道開設の支障木として造材された原木丸太

林業者の就業に向けた課題に、原木価格の低迷があります。しかし、最終製品として住宅等に利用される段階では、単位当たりの価値は、20倍以上となります。日本の人工林が20倍の価値をもつまで国内で循環し、最終製品を船で海外に輸出したら、どうなりますか？



三菱創業者が誓いを立てた山で、日本の課題の【山】に挑む参加者

岩崎弥太郎ゆかりの妙見山(安芸市市有林)において、自伐型林業の基本インフラである作業道開設のステップアップ研修がありました。急峻な地形の安芸市山間部では、集材が林業における最大のハードルとなっています。

私の前に道はない
私の後ろに道はできる



山林新聞

伊尾木川・安芸川流域

美しい土佐の森は、豊かな土佐湾の恋人

やってみせ、言って聞かせて
やらせてみて、ほめてやらねば
人は動かじ(山本五十六)

今回の発行所
安芸市民 K

協力
みなとまちづくり共同体

今回の配布先
・安芸市
・室戸市
・自伐型林業推進協会
・海の森づくり推進協会
・高知県木材協会
・シーベジタブル
・天然資源活用委員会
・みなとまちづくり共同体



木組みで土砂を止め



谷を渡り



道の無い山林に入口を開き



支障木を伐倒し



切株を掘り起こして除去



何もなかった山に作業道開設

止・山林の公益的機能は、炭素吸収・土砂災害防止・水源涵養の外に、健全な森林を通じた栄養塩の流入により、藻場環境を改善するとわかっていす。道幅の狭い作業道は、木組みにより自然の植生を再現する、自然共生型工法です。

元、連合艦隊司令長官の有名な格言ですが、作業道開設研修の講師陣も、同様の指導を行っています。途方に暮れるような原野に、道を開いて見せ、木組み方法などを言って聞かせ、実際にくぎを打たせてみて、曲がっても褒めてくれます。